

サマーキャンプ報告書

【1日目】

①JICA レストラン

アジアの食事を提供してくれていた。フォーを食べた。香辛料が多めに効いており日本料理にはない味付けとなっている。特に暑い日の札幌ではパンチがきいていた。



②JICA 展示 資料

衣装や帽子など各国から持ってきた実物を手に取り、外国にいるかのような気分になった。ウズベキスタンに行っていた職員の方からも色々な話を聞いた。



③札幌留学センター溝口さんからの講話

個人的な体験や留学先での留意点や英語学習について教わった。「ダメでも、もう一度やってみる」という言葉が心に残っている。工夫次第・視点を変化させる・積極的に行動することにより突破できることを再確認できた。



## 【2日目】

### ①インタビュー

雨が振り、気温が30度近くあり、あまり外国人観光客が路上にはいなかった。また、家族連れのアジア系の旅行者が多くなかなかテレビでやっているような街頭インタビューはできなかった。狸小路や大通り、地下歩行空間等移動しながらインタビューを試みたがうまく行かなかった。今回は計画的・組織的に行う企画とした。一方で、旅行者の時間をリスペクトするということが同時に学んだ。我々の交流したい気持ちと、彼らの時間を大切にすることが同時に発生することは難しいし、積極的にコミュニケーションを取りたいかどうかは疑問である。急に喋りかけられることを嫌がることも考えなければいけない。

### ②昼食

狸小路のマニータイにて。12時前に着いたが多くのお客さんがいた。テイクアウトもネットででき、そちらのお客もいた。人気店のようだ。店の雰囲気はまさに海外の雰囲気、料理人も現地の人のように思えた。頼んだチャーハンはお店のチャーハンと同じで、サラダ・スープもついて1100円と安くはない。雰囲気を味わうお店というのと、JICAの昼食との違い（本場の味に近いであろう日本人には合わないという感想が出る感じ、米国留学に行った時の感覚）がわかった。JICAは現地の人も利用するのでという推察ができた。

※カオ=米という意味。タイ米であろう細長い米が使用されていた。



### ③札幌国際プラザ ビル3階

姉妹都市の情報などがおいてあり、外国人向けの情報発信基地のような施設だった。SATの予想問題があつて、見てみた。内容は、国語、ライティング、数学（公式はのっており暗記したことではなく、それを応用できて問題解決ができていくかどうか）だった。勉強になった。スペイン語のパンフレットもあり、いただき、読んでみた。札幌の公立夜間中学校のパンフレットも日本語と英語バージョンを頂いてきた。時間が余ったので寄ったが、十分学びに値する場所だ。

### ④札幌市国際交流課 10階⇒その後12階の会議室へ

一番印象に残ったこと：韓国の方より、「なまんだことは自分の翼になる」。

MICE：▲国土交通省 観光庁 HP より

MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

MICEは、企業・産業活動や研究・学会活動等と関連している場合が多いため、一般的な観光とは性格を異にする部分が多いものです。このため、観光振興という文脈でのみ捉えるのではなく、MICEについて、「人が集まる」という直接的な効果はもちろん、人の集積や交流から派生する付加価値や大局的な意義についての認識を高める必要があります。



## 【3日目】アイルランド名誉領事（フィンランド名誉領事も兼ねている）からの講話

### ①挨拶・自己紹介

名誉領事と領事が経営している会社の方2名が参加。



### ②アイルランドPRビデオ視聴

### ③領事からの講話

仕事の関係から名誉領事として拝命した。何度も現地に行き、アイルランドの方々と共にビジネスをしたり、日本（自治体）とアイルランドの架け橋として活動されている。

アイルランド人の国民性や日本との共通点、米国におけるアイルランドの影響力（米国3億の人口20%はアイルランド系、大統領もアイルランド系が多い）等を教えて頂いた。

母校（札幌）のPTA会長として、母校生徒をアイルランドへのホームステイプログラムを企画し派遣するなど、高校教育に関しても関心を高く持っている方だった。



### ④東京都アイルランド領事館の外交官とオンライン交流

15分間オンラインでつないでもらい、英語のみでアイルランドのスポーツ（ラグビー）や文化等の質問に回答して頂いた。

